

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	福岡財務支局長
【提出日】	平成24年5月15日
【四半期会計期間】	第33期第2四半期（自平成24年1月1日至平成24年3月31日）
【会社名】	株式会社 梅の花
【英訳名】	UMENOHANA CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 梅野 重俊
【本店の所在の場所】	福岡県久留米市天神町146番地
【電話番号】	0942(38)3440(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長兼経営計画室長 上村 正幸
【最寄りの連絡場所】	福岡県久留米市天神町146番地
【電話番号】	0942(38)3440(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長兼経営計画室長 上村 正幸
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第32期 第2四半期連結 累計期間	第33期 第2四半期連結 累計期間	第32期
会計期間	自平成22年 10月1日 至平成23年 3月31日	自平成23年 10月1日 至平成24年 3月31日	自平成22年 10月1日 至平成23年 9月30日
売上高(千円)	15,264,644	15,799,937	29,736,352
経常利益(千円)	349,710	464,488	461,361
四半期純利益又は四半期(当期) 純損失()(千円)	209,750	371,816	155,001
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	210,388	373,342	154,998
純資産額(千円)	5,955,969	6,111,116	6,011,359
総資産額(千円)	21,440,580	19,740,942	19,181,036
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期(当期)純損失 金額()(円)	3,536.26	5,261.45	2,375.64
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)			
自己資本比率(%)	27.8	31.0	31.3
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	921,889	848,117	1,610,246
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	572,000	164,989	917,208
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	2,549,148	15,801	153,069
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	3,532,951	2,178,950	1,480,020

回次	第32期 第2四半期連結 会計期間	第33期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年 1月1日 至平成23年 3月31日	自平成24年 1月1日 至平成24年 3月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	1,021.19	3,607.26

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第32期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において、当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況で、電源供給の制約やタイ大洪水・欧州の債務危機・原油価格の上昇などにより景気の下振れリスクが存在すると言われていたなかで推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは「思い立ったら即実行 実行力が会社を変える」を経営方針として、お客様に感極まるサービスを提供できるように取り組んでまいりました。

販売強化策といたしましては、おかずになる商品として、「餃子」を新規開発し、売上の増加を図っております。

店舗の出店及び閉店につきましては、外食事業2店舗出店、テイクアウト事業3店舗出店及び3店舗閉店、3店舗の分離と子会社間の異動により、当第2四半期末の店舗数は、257店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高157億99百万円（前年同期比103.5%）、営業利益4億25百万円（前年同期比94.2%）、経常利益4億64百万円（前年同期比132.8%）、四半期純利益3億71百万円（前年同期は四半期純損失2億9百万円）となりました。

なお、セグメントの状況は次のとおりであります。

（外食事業）

昨年に引き続きテレビコマーシャルを重要な広告媒体としてとらえ、お客様に梅の花をより一層アピール出来るようにシリーズ化いたしております。また、新たな試みとして、和食の店でも洋食を取り入れたクリスマス懐石の提供、男性のお客様向けには、お酒に合う一品料理を組み合わせた懐石「先斗町」を提供するなど、売上の拡大に努めております。

出店及び閉店につきましては、梅の花は、10月に「立川店（東京都）」、11月に「岡山店（岡山県）」を出店し68店舗、チャイナ梅の花4店舗、かにしげ3店舗、その他店舗3店舗となりました。従いまして、外食事業の全店舗数は78店舗、売上高は100億42百万円（前年同期比103.7%）、セグメント利益7億40百万円（前年同期比113.4%）となりました。

（テイクアウト事業）

梅の花テイクアウト店に続きまして、当期より古市庵テイクアウト店につきましても、おせちの取り扱いを始めており、売上の拡大に努めております。

出店及び閉店につきましては、古市庵テイクアウト店は、1月に「八王子そごう店（東京都）」、2月に「枚方近鉄店（大阪府）」、「学園前近商店（奈良県）」を閉店し、135店舗となりました。

梅の花テイクアウト店は、3月に「神戸大丸店（兵庫県）」を出店し、10月に「山口井筒屋店（山口県）」、「堺北花田阪急店（大阪府）」、「仙台セルパ店（宮城県）」以上3店舗を古市庵テイクアウト店より分離移管し、34店舗となりました。

その他店舗は、11月に「千林商店街店（大阪府）」、3月に「あさひパン（佐賀県）」を出店し、10店舗となりました。

従いまして、テイクアウト事業の全店舗数は179店舗、売上高は57億57百万円（前年同期比103.1%）、セグメント利益1億15百万円（前年同期比46.8%）となりました。

(2) 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末と比べ5億59百万円増加し、197億40百万円となりました。これは主に、現金及び預金が6億99百万円増加したことによるものであります。

負債の部につきましては、前連結会計年度末と比べ4億60百万円増加し、136億29百万円となりました。これは主に、為替相場の影響によりデリバティブ債務が1億38百万円減少し、季節要因により買掛金及び未払金が2億98百万円、借入金の総額が3億18百万円増加したことによるものであります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末と比べ99百万円増加し、61億11百万円となりました。これは主に、利益剰余金が3億36百万円増加し、自己株式取得により株主資本が2億38百万円減少したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して、6億98百万円増加し、21億78百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は8億48百万円（前年同四半期9億21百万円の収入）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益4億57百万円、非資金的費用である減価償却費4億80百万円及びのれん償却額57百万円、為替相場の影響によりデリバティブ評価損益1億1百万円となったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は1億64百万円（前年同四半期5億72百万円の支出）となりました。

これは主に、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出1億83百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、得られた資金は15百万円（前年同四半期25億49百万円の収入）となりました。

これは主に、金融機関からの長期借入れによる収入11億円及び短期借入金の純増額3億円、長期借入金の返済による支出10億81百万円、自己株式の取得による支出2億38百万円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった主要な設備の新設のうち、当第2四半期連結累計期間に完了したものは次のとおりであります。

会社名	事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	投資金額 (千円)	資金調達方法	完了年月
株式会社 梅の花 Service	梅の花立川店 (東京都立川市)	外食事業	店舗設備	279,631	自己資金及び 借入金	平成23年10月
	梅の花岡山店 (岡山県岡山市北区)	外食事業	店舗用地及び 設備	560,259	自己資金及び 借入金	平成23年11月

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	207,000
計	207,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年3月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年5月15日)	上場金融商品取引所名または登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	71,147	71,147	東京証券取引所 (市場第二部)	当社は、単元株制度は採用していません。
計	71,147	71,147		

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成24年1月1日～ 平成24年3月31日		71,147		3,804,852		3,181,841

(6)【大株主の状況】

平成24年3月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
有限会社梅野企画	福岡県久留米市櫛原町71 - 7	12,021	16.89
梅野重俊	福岡県久留米市	5,992	8.42
梅野久美恵	福岡県久留米市	3,776	5.30
株式会社トーホーフードサービス	兵庫県神戸市東灘区向洋町西5丁目9	1,280	1.79
株式会社西日本シティ銀行	福岡県福岡市博多区博多駅前3丁目1 - 1	960	1.34
麒麟麦酒株式会社	東京都中央区新川2丁目10 - 1	800	1.12
梅の花社員持株会	福岡県久留米市天神町146番地	640	0.89
三井住友海上火災保険株式会社	東京都中央区新川2丁目27 - 2	468	0.65
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7 - 1	456	0.64
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223 (常任代理人 株式会社みずほコーポレート銀行 決済営業部)	東京都中央区月島4丁目16-13	299	0.42
計		26,692	37.51

(注) 上記のほか、自己株式が1,354株あります。

(7) 【議決権の状況】
【発行済株式】

平成24年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,354		
完全議決権株式(その他)	普通株式 69,793	69,793	
単元未満株式			
発行済株式総数	71,147		
総株主の議決権		69,793	

(注) 上記「完全議決権株式(その他)」の株式数には、証券保管振替機構名義の株式が6株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数6個が含まれております。

【自己株式等】

平成24年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社梅の花	福岡県久留米市天神町146番地	1,354	-	1,354	1.90
計	-	1,354	-	1,354	1.90

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年1月1日から平成24年3月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年10月1日から平成24年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,808,043	2,507,066
売掛金	1,244,320	1,430,344
商品及び製品	59,916	62,741
原材料及び貯蔵品	148,353	180,373
繰延税金資産	327,744	283,924
その他	451,910	506,521
貸倒引当金	1,758	1,758
流動資産合計	4,038,530	4,969,213
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,622,752	6,824,787
機械装置及び運搬具(純額)	148,468	142,560
土地	4,639,687	4,639,687
建設仮勘定	484,263	5,118
その他(純額)	519,205	581,138
有形固定資産合計	12,414,377	12,193,292
無形固定資産		
のれん	693,794	635,978
その他	79,996	71,898
無形固定資産合計	773,790	707,876
投資その他の資産		
投資有価証券	57,176	59,978
長期貸付金	77,788	77,679
繰延税金資産	53,818	23,962
敷金及び保証金	1,688,518	1,642,723
その他	153,503	147,146
貸倒引当金	76,468	80,930
投資その他の資産合計	1,954,337	1,870,561
固定資産合計	15,142,505	14,771,729
資産合計	19,181,036	19,740,942

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	575,074	692,389
短期借入金	1,300,000	1,600,000
1年内返済予定の長期借入金	2,473,388	3,137,611
未払金	1,159,325	1,340,722
未払法人税等	39,400	24,750
賞与引当金	241,300	236,400
ポイント引当金	106,945	113,124
その他	651,849	642,073
流動負債合計	6,547,282	7,787,070
固定負債		
長期借入金	5,184,176	4,538,867
退職給付引当金	141,620	133,346
デリバティブ債務	488,912	350,691
資産除去債務	608,328	619,432
その他	199,357	200,418
固定負債合計	6,622,395	5,842,756
負債合計	13,169,677	13,629,826
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,804,852	3,804,852
資本剰余金	3,181,841	3,181,841
利益剰余金	969,856	633,613
自己株式	-	238,011
株主資本合計	6,016,837	6,115,068
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	752	773
為替換算調整勘定	4,725	4,725
その他の包括利益累計額合計	5,478	3,952
純資産合計	6,011,359	6,111,116
負債純資産合計	19,181,036	19,740,942

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
売上高	15,264,644	15,799,937
売上原価	4,434,794	4,596,181
売上総利益	10,829,849	11,203,755
販売費及び一般管理費	10,378,071	10,778,325
営業利益	451,778	425,430
営業外収益		
受取利息	2,567	2,281
受取配当金	129	865
受取手数料	13,507	17,263
保険解約返戻金	19,842	-
デリバティブ評価益	-	101,755
雑収入	16,963	14,905
営業外収益合計	53,010	137,070
営業外費用		
支払利息	84,908	61,921
デリバティブ評価損	30,962	-
雑損失	39,206	36,090
営業外費用合計	155,077	98,012
経常利益	349,710	464,488
特別損失		
固定資産除売却損	139,712	6,531
店舗閉鎖損失引当金繰入額	600	-
投資有価証券評価損	93	-
訴訟関連損失	1,695	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	369,175	-
減損損失	-	775
特別損失合計	511,276	7,306
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	161,565	457,181
法人税、住民税及び事業税	11,284	14,380
法人税等調整額	36,900	70,984
法人税等合計	48,184	85,365
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	209,750	371,816
四半期純利益又は四半期純損失()	209,750	371,816

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	209,750	371,816
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	638	1,525
その他の包括利益合計	638	1,525
四半期包括利益	210,388	373,342
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	210,388	373,342
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	161,565	457,181
減価償却費	493,122	480,876
減損損失	-	775
のれん償却額	57,816	57,816
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	369,175	-
投資有価証券評価損益(は益)	93	-
賞与引当金の増減額(は減少)	13,600	4,900
店舗閉鎖損失引当金の増減額(は減少)	15,561	-
退職給付引当金の増減額(は減少)	1,986	8,273
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,366	4,462
訴訟損失引当金の増減額(は減少)	10,305	-
ポイント引当金の増減額(は減少)	5,246	6,178
受取利息及び受取配当金	2,696	3,146
支払利息	84,908	61,921
固定資産除売却損益(は益)	139,712	6,531
デリバティブ評価損益(は益)	30,962	101,755
売上債権の増減額(は増加)	30,560	186,023
たな卸資産の増減額(は増加)	6,909	34,845
仕入債務の増減額(は減少)	51,538	117,315
その他	3,677	81,780
小計	1,025,608	935,895
利息及び配当金の受取額	728	1,220
利息の支払額	81,507	61,403
法人税等の支払額	22,939	27,594
営業活動によるキャッシュ・フロー	921,889	848,117
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	299	93
定期預金の払戻による収入	50,040	-
有形固定資産の取得による支出	617,613	183,985
無形固定資産の取得による支出	2,433	-
有形固定資産の除却による支出	3,703	5,994
投資有価証券の取得による支出	1,189	1,207
連結子会社株式の追加取得による支出	50	-
資産除去債務の履行に伴う支出	-	27,700
貸付けによる支出	2,840	-
貸付金の回収による収入	103	106
敷金及び保証金の回収による収入	9,459	54,072
敷金及び保証金の差入による支出	35,848	6,350
その他	32,373	6,164
投資活動によるキャッシュ・フロー	572,000	164,989

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	56,000	300,000
長期借入れによる収入	2,400,000	1,100,000
長期借入金の返済による支出	2,601,144	1,081,086
株式の発行による収入	2,741,036	-
自己株式の取得による支出	-	238,011
リース債務の返済による支出	13,862	28,771
割賦債務の返済による支出	3,994	1,777
配当金の支払額	28,887	34,552
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,549,148	15,801
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	2,899,037	698,929
現金及び現金同等物の期首残高	633,913	1,480,020
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 3,532,951	1 2,178,950

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)																												
1 販売費及び一般管理費の主要な項目と金額は以下のとおりであります。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">給与及び賞与</td> <td style="text-align: right;">4,261,095千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">222,400</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">30,143</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">711,557</td> </tr> <tr> <td>賃借料</td> <td style="text-align: right;">1,842,288</td> </tr> <tr> <td>水道光熱費</td> <td style="text-align: right;">400,845</td> </tr> <tr> <td>減価償却費</td> <td style="text-align: right;">429,556</td> </tr> </table>	給与及び賞与	4,261,095千円	賞与引当金繰入額	222,400	退職給付費用	30,143	消耗品費	711,557	賃借料	1,842,288	水道光熱費	400,845	減価償却費	429,556	1 販売費及び一般管理費の主要な項目と金額は以下のとおりであります。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">給与及び賞与</td> <td style="text-align: right;">4,453,841千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">220,000</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">27,243</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">736,929</td> </tr> <tr> <td>賃借料</td> <td style="text-align: right;">1,856,603</td> </tr> <tr> <td>水道光熱費</td> <td style="text-align: right;">415,482</td> </tr> <tr> <td>減価償却費</td> <td style="text-align: right;">424,027</td> </tr> </table>	給与及び賞与	4,453,841千円	賞与引当金繰入額	220,000	退職給付費用	27,243	消耗品費	736,929	賃借料	1,856,603	水道光熱費	415,482	減価償却費	424,027
給与及び賞与	4,261,095千円																												
賞与引当金繰入額	222,400																												
退職給付費用	30,143																												
消耗品費	711,557																												
賃借料	1,842,288																												
水道光熱費	400,845																												
減価償却費	429,556																												
給与及び賞与	4,453,841千円																												
賞与引当金繰入額	220,000																												
退職給付費用	27,243																												
消耗品費	736,929																												
賃借料	1,856,603																												
水道光熱費	415,482																												
減価償却費	424,027																												

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)												
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年3月31日現在) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">3,860,960千円</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3か月を超える定期預金等</td> <td style="text-align: right;">328,009</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">3,532,951</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	3,860,960千円	預入期間が3か月を超える定期預金等	328,009	現金及び現金同等物	3,532,951	1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成24年3月31日現在) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">2,507,066千円</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3か月を超える定期預金等</td> <td style="text-align: right;">328,116</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">2,178,950</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	2,507,066千円	預入期間が3か月を超える定期預金等	328,116	現金及び現金同等物	2,178,950
現金及び預金勘定	3,860,960千円												
預入期間が3か月を超える定期預金等	328,009												
現金及び現金同等物	3,532,951												
現金及び預金勘定	2,507,066千円												
預入期間が3か月を超える定期預金等	328,116												
現金及び現金同等物	2,178,950												

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成23年3月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年12月22日 定時株主総会	普通株式	28,850	500	平成22年9月30日	平成22年12月24日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成23年3月8日付で公募増資を実施いたしました。また、平成23年3月28日付で大和証券キャピタル・マーケット株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結会計期間

において資本金が1,370,518千円、資本剰余金が1,370,518千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において

資本金が3,804,852千円、資本準備金が3,181,841千円となっております。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年3月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年12月22日 定時株主総会	普通株式	35,573	500	平成23年9月30日	平成23年12月26日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成23年12月5日開催の取締役会決議により、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得を実施いたしました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において、自己株式は238,011千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成23年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	外食事業	テイクアウト 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,682,513	5,582,130	15,264,644		15,264,644
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,801	25,175	29,976	29,976	
計	9,687,315	5,607,306	15,294,621	29,976	15,264,644
セグメント利益	653,420	246,534	899,955	448,176	451,778

(注)1 セグメント利益の調整額 448,176千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	外食事業	テイクアウト 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,042,226	5,757,710	15,799,937		15,799,937
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,668	23,055	27,724	27,724	
計	10,046,894	5,780,766	15,827,661	27,724	15,799,937
セグメント利益	740,652	115,282	855,935	430,504	425,430

(注)1 セグメント利益の調整額 430,504千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額()	3,536円26銭	5,261円45銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	209,750	371,816
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純 損失金額()(千円)	209,750	371,816
普通株式の期中平均株式数(株)	59,314	70,668

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年5月14日

株式会社梅の花
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 工藤 重之 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 甲斐 祐二 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社梅の花の平成23年10月1日から平成24年9月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年1月1日から平成24年3月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年10月1日から平成24年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社梅の花及び連結子会社の平成24年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。